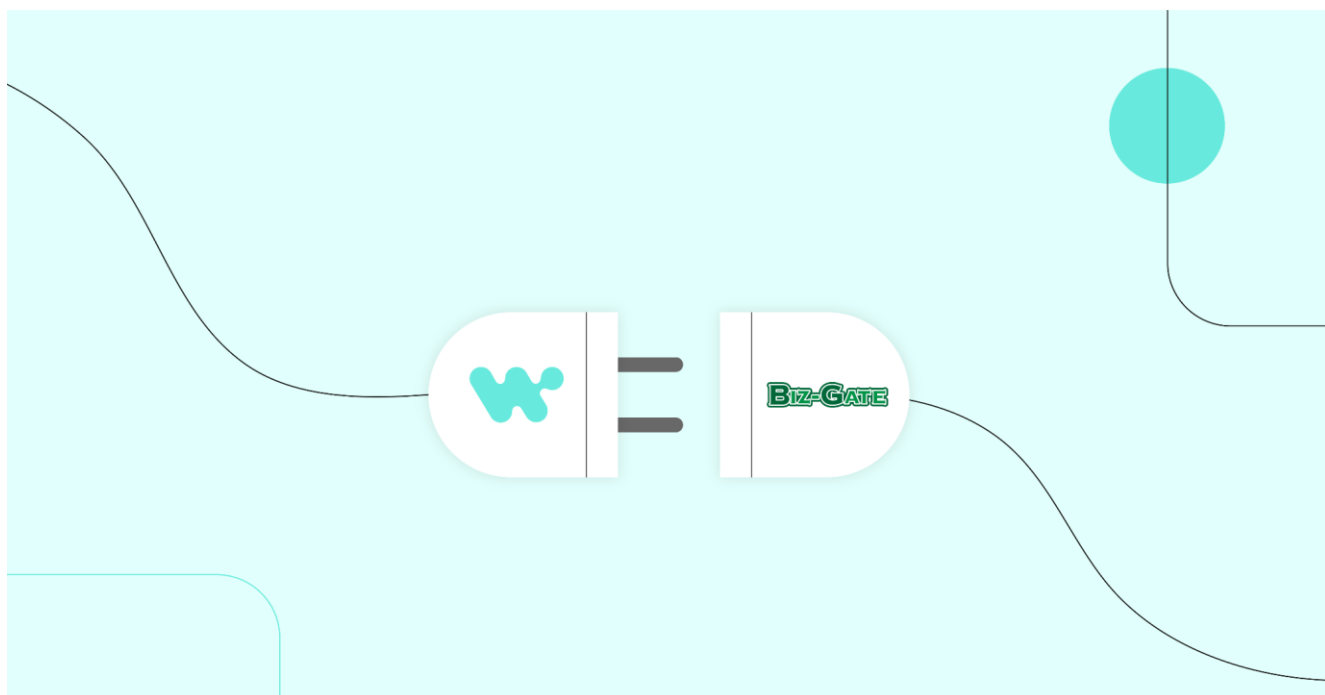


報道関係者各位

Workato、Biz-Gate「Beegle データ」との連携で、 SFA、CRM、MA 上の日本企業データの名寄せ、情報付与の自動化を実現

エンタープライズオートメーション市場を牽引する旗手として成長を遂げている企業 Workato 株式会社（本社：東京都千代田区、カントリーマネージャー：中川 誠一 以下 Workato）は当社のエンタープライズオートメーションプラットフォーム「Workato」とネットビジネスサポート株式会社（東京渋谷区、代表取締役：池上正夫、以下 NBS）が運営する営業 DX の実現をサポートする「企業データ Hub サービス：Biz-Gate」が連携したことを発表します。

この連携により、Salesforce や Marketo 等、Workato で連携する SFA、CRM、MA ツールに登録された日本企業データの名寄せや、住所、電話番号、業種などの追加情報付与を自動化し、各企業の営業/マーケティング活動を効率化します。



Biz-Gate は、企業情報から、企業名を自動的に判定し、その企業の最新の企業属性データを取り込む API サービスです。煩雑になったデータを整え、効率よくお客様にアプローチすることを特徴としています。セミナーの申し込みや資料の管理を行う際、申込者の企業名とドメイン名から、住所、電話番号、業種などを自動的に付与することが可能です。NBS は 60 万社の企業情報と 100 万もの拠点情報数を突破しています。今回 Workato がコネクタとして連携可能になるサービス「Beegle データ」は、NBS が提供する営業・マーケティングの現場で使える次世代型の企業 Web データベースで、インターネット上の企業活動データをデータベース化、AI、RPA 技術を活用して最新データに 2 か月に 1 度更新しています。

連携の背景には、SFA、CRM、MA ツールに登録されているデータの会社名が統一されていないことと、企業名の重複が多いという課題がありました。営業部門が管理する見込み客（リード）データの名寄せ、業種分類をクレンジングし、さらに企業情報に法人番号や企業属性情報の付与の希望が増えています。

SFA、MA ツールのデータに外部の企業データを API 連携し情報を自動付与するためには、API 連携の仕組みを開発する必要がありました。Workato を連携することで、会社名、法人番号、住所、電話番号、代表者名、URL、会社規模、部署名情報、キーマン情報などの項目の自動取り込みを実現することが可能となります。

■Workato の Biz-Gate コネクタはこちら*

<https://www.workato.com/integrations/community/biz-gate>

*Workato の使用を前提としています。

■Workato について

Workato は、エンタープライズオートメーションプラットフォームのリーダーです。クラウド/オンプレミスを問わず、データベース、アプリケーション、各種サービスを API をベースに連携（インテグレーション）させ、社内外の組織を横断した業務プロセスやワークフローの自動化を、容易かつ素早く、アジャイルで行うことで、従来比 10 倍の生産性を実現しています。

また、100%クラウドネイティブなプラットフォームで、ノーコード化やマシンラーニングを適用した特許取得済みの自動化インプリ手法により、非エンジニアでも容易に自動化が行え、ガバナンスとセキュリティの機能も標準装備されているため、大規模エンタープライズに適した自動化を、従来比 1/3 の TCO で実現可能です。

Gartner 社の Enterprise iPaaS 市場における Magic Quadrant では、初登場以来 4 年連続リーダーに選出されています。日本では、LIXIL、DeNA、横河電機など様々な企業で利用されています。

ウェブサイト：workato.com/japan

■ネットビジネスサポート株式会社について

次世代型の企業 Web データ『Beegle データ』を独自に開発・販売しており、新規営業アプローチ先のターゲティングリスト提供、リードデータのクレンジング、AI 分析によるターゲティングオートメーションの実現を図り、営業 DX 推進のためのデータ整備を目指しています。

『Beegle データ』は、現在、約 10,000 社の様々な場面で多く利用されています。

ウェブサイト：<https://www.net-bizs.jp/>

Biz-Gate のウェブサイト：<https://www.net-bizs.jp/biz-gate/>